

JForest

# 森林組合だより

令和2年1月1日

発行

第127号

▶▶ 令和2年 新年号 ◀◀



新春のお慶びも  
申し上げます

象潟からの鳥海山



本荘由利森林組合

由利本荘市水林381

TEL 0184-24-4141(代) FAX 0184-24-4143

HP <http://www.honmori.com/> メール [honmori@trad.ocn.ne.jp](mailto:honmori@trad.ocn.ne.jp)



# 新年のごあいさつ



代表理事組合長 小松佳和

令和二年の新春を迎え、謹んでお慶びを申し上げます。  
皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、昨年は、令和への改元という輝かしい歴史が刻まれる中で、森林・林業においても新しい時代への幕開けとも言えるべき記念すべき年となりました。

新たな森林経営管理制度が運用されるとともに、森林環境譲与税の配分が全国の市町村を主体として開始されるなど、成長産業化に向けた国内林業の活性化が現実味を帯びてきていると感じております。

一方、国産材をめぐる動向は、戦後造成された森林資源が本格的な利用期を迎える中、地球温暖化の抑制を背景に、建築物の木造・木質化への動きが一段と加速されているほか、木質耐火部材やCLT（直交集成板）など、大型木造建築物用の資材の開発、並びに、木質バイオマスのエネルギー利用などにおいて国産材の需要拡大が顕著になっております。

また、近年は、セルロースナノファイバー（CNF）や改質リグニンなど、木材から製造される新素材なども新たな木材の需要分野として期待が高まっております。

しかしながら、期待が膨らむ状況の一方で、森林・林業の現場を取り巻く環境は、依然として厳しく、中でも林業労働力不足が深刻な問題となってきました。

こうした状況は、地域林業の持続的な発展と健全な森林資源の保全のために克服しなければならない根本的な課題であり、関係する各機関と密接な連携を図りながら解決に向け鋭意取り組んでいく覚悟であります。

このように、国産材が主役となる時代が到来しつつある中で、本荘由利森林組合は、長年培ってきた技術と能力を最大限発揮し、揺るぎない生産基盤の造成と多様なニーズに対処していくことが、管内の恵まれた森林資源の有効活用を図るための最良の方策であると考えております。

今後とも、組合員の皆様の信頼に応える山づくりを目指して、役職員一丸となって邁進する所存でありますので、本年も一層のご指導ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、皆様のご多幸とご健勝を心から祈念して、新年のごあいさつといたします。

外 職 員 一 同	監	監	代	理	理	理	理	理	理	理	理	理	理	理	理	副	副	代	謹 賀 新 年					
	事	事	表	事	事	事	事	事	事	事	事	事	事	事	事	組	組	表						
	村	佐	加	齋	三	藤	浅	小	小	鈴	工	莊	佐	熊	佐	板	伊	佐		初	岡	佐	鈴	小
	上	藤	藤	藤	浦	原	田	松	番	木	藤	司	藤	谷	藤	垣	藤	藤		瀬	見	木	木	松
職	佐	憲	惣	正	照	幸	敏	喜	範	勝	典	健	正	修	東	晃	法	佳						
員	左	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	
一	衛	進	郎	功	一	信	夫	勲	規	作	彦	崇	夫	一	昭	二	衛	一	一	夫	充	和		
同	門	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一		

# 第63回 秋田県森林組合大会



令和元年11月15日(金)「秋田テルサ」(秋田市御所野)において、第63回秋田県森林組合大会が開催されました。

県内12森林組合の役職員の他、秋田県知事、東北森林管理局長、森林・林業・林産業活性化推進議員の会会長、農林中央金庫秋田支店長等の御来賓のほか、多くの林業関係者が出席しました。

大会は、県森連副会長を務める小松組合長の宣言で開会し、佐藤重芳県森連会長の挨拶に続き、御来賓のご祝辞と祝電が披露されました。大会では、新たに始まった森林経営管理制度と森林資源の循環利用推進に取り組むことを誓いました。

- ◆ 部門別系統利用優秀組合  
秋田県森林組合連合会会長賞  
系統購買事業 — 本荘由利森林組合
- ◆ 林業功労者  
秋田県森林組合連合会会長賞  
加藤 勲(本荘)
- ◆ 役員永年功労者  
秋田県森林組合連合会会長賞  
◇ 35年表彰  
小松 佳和(東由利)  
工藤 喜作(岩城)  
◇ 同30年表彰  
小番 勲(矢島)
- ◆ 優良現場技能者  
秋田県森林組合連合会会長賞  
高橋 晃喜(林産販売課)



令和元年十一月十五日  
第六十三回秋田県森林組合大会

## 【決議】

私たち森林組合は、系統運動である JForest「森林・林業・山村未来創造運動」〜次代へ森を活かして地域を創る〜を展開しており、今後とも全県3万人の組合員と一体となり、資源の循環利用と適切な管理の推進、人材の確保・育成等により、「林業の成長産業化」を実現するため、森林の諸課題に取り組む決意である。

本日ここに、秋田県、東北森林管理局、秋田県市長会、秋田県町村会、農林中央金庫秋田支店の後援のもと、第63回秋田県森林組合大会を開催し、次の事項の実現に森林組合系統の総力を挙げて邁進するものである。

- 一、森林経営管理制度の推進
- 二、森林資源の循環利用の推進

以上決議する。

## ..... 地区組合員研修 .....

### 鳥海地区

- 開催日：10月23日(水) ■ 参加組合員数：12名
- 視察先：石高山、荒沢山

これまで本荘由利森林組合主催の造林コンクールで最優秀賞に輝いた荒沢山と優秀賞を受賞した石高山を視察し、間伐事業の知識を深めました。懇親の場でも互いの情報を交換し合い、積極的に林業情勢の見識を広げることができ、非常に有意義な研修となったと感じています。



### 由利地区

- 開催日：10月28日(月) ■ 参加組合員数：17名
- 視察先：健康の森（秋田市下浜地内）

講師として、「秋田森の会 風のハーモニー」代表の佐藤清太郎氏をお招きし、自身の所有林でもある「健康の森」をご案内いただきました。会の取り組みを交えながら森林管理の手法についてお聞きし、森林の知識を更に深めるいい機会となりました。





# 情報 3-1-1



明けましておめでとうございます。

令和最初の新年のスタートにあたり、私たちの心のよりどころとして広く知られている名言・格言を論語などの古典の中から選んでみましたのでご紹介いたします。

## ★ まことに日に新たに、日々に新たに、また日に新たなり

昨日より今日が良くなるよう、今日より明日が良くなるよう、日々新たに、新鮮な気持ちで努力を積み重ねることによって、より前に進むことができる。

## ★ <sup>あやま</sup>過ちて改めざる、これを過ちという

失敗を自覚しながらも改めようとしないことこそが本当の過ちである。

## ★ <sup>し</sup>士は以て<sup>こうき</sup>弘毅ならざるべからず。任重くして道遠し

りっぱな人物は、広い心と強い意志をもっていなければならない。責任が重く、道が遠いから。「ならざるべからず」は「・・・しないとイケない」の意)

## ★ <sup>きゆう</sup>弱すれば<sup>すなわ</sup>則ち変ず。変ずれば則ち通ず

物事に行き詰まって困難に遭遇したときは、逃げずに正面から立ち向かうことで変化が生まれる。変化が生じると必ず新たな道が開けてくる。



## ★ <sup>ちゆうどう</sup>力足らざる者は中道にして<sup>かぎ</sup>廢す。今汝は画れり

本当に力が足りない者なら、途中で力尽きてしまうだろう。君は、始める前から自分に見切りをつけている。

## ★ <sup>ほんまつ</sup>物に本末有り。事に<sup>せんご</sup>終始有り。先後<sup>すなわ</sup>するところを知れば、則ち道に近し

物には、必ず本（もと）と末がある。事には、必ず終わりと始めがある。何が根本で、何が末梢か。何が先決問題で、何が後の問題であるかを常に見極めて行動することが人の道（鉄則）というもの。

## ★ 心ここに在らざれば、視て見えず、聴きて聞こえず、食らいてその味を知らず

心が散漫で、集中していなければ、視ていても正しく物を見ることができない。同じく、聴いても真実が聞こえない。また、食べても本当の味を知ることができない。

## ★ <sup>またよるこ</sup>学びて時にこれを習う、亦<sup>とも</sup>説ばしからずや。朋遠方より来たる有り、亦<sup>とも</sup>楽しからずや。人知らずしてうらみず、亦<sup>とも</sup>君子ならずや

習ったことを機会があるごとに復習し、身につけていくことは、なんと喜ばしいことではないか。このように学んでいると自然に志しを同じくする友が集まってきてくれることは、なんと楽しいことではないか。

だが、人が自分の存在を認めてくれなくても怨むことなく、自ら為すべきことに努力してやまない人は、なんと立派な人物ではないか。



(※一部現代用語に変換)

# 木材市況情報 (令和元年)

単位：円、上段（石当り価格）  
下段 m 当り 価格

		12月3日			
樹種	材長 m	径級 cm	本荘由利木材流通センター		
			高 値	安 値	平均価格
スギ	3.65	14下	/		
		16~22	(2, 979) 10, 727	(2, 930) 10, 548	(2, 948) 10, 614
		24~34	(3, 666) 13, 200	(3, 471) 12, 496	(3, 580) 12, 891
出材量・販売量・販売率		889m <sup>3</sup> (3,200石)・889m <sup>3</sup> (3,200石)・100%			
12月：ここにきて製材所の原木在庫が減少していることもあり、引き合いも強く、強含みで推移。 量産工場はじめ、県外勢や地元勢が参加し、応札枚数も3枚から4枚となった。					

## 組合員技術講習会 開催

11月13日(水) 組合員94名が参加し、由利の善隣館を会場に組合員技術講習会を開催しました。



善隣館では由利地域振興局森づくり推進課長・藤田昇氏をお招きし、「次代につなぐ森林整備について」と題して講演をいただきました。過去のデータから読み取れる現在の秋田県内の林業動向と、森林経営管理制度、森林環境譲与税等を契機に、所有者に対してどのように利益還元されるのかの見通しについてご説明いただきました。また、近年多発する集中豪雨や地震等による山地災害への対策として、治山事業拡充が急務であると述べ、継続的な森林整備の必要性を組合員に訴えておりました。



講演を終えた後、由利本荘市飯沢字湯ノ沢地内の林業専用道飯沢線へ移動し、現場見学を行いました。林業専用道とは、幹線となる林道を補完し、特に森林施業を推進するために、10tトラックが走行できる規格・構造を有した道路のことです。飯沢線は平成27年度から平成31年度にかけて、3号線まで開設され、全長は5,513mに及びます。このような林業専用道を設けることで、10t程度のホイールトラック等による低コスト運搬が可能になることや路網の整備により、森林整備への意欲が促進されるなどのメリットがあるという説明がなされました。

### 年末年始休業のお知らせ

**12月28日(土)~  
1月5日(日)**

1月6日(月)より通常営業となります。



- 今後の行事予定
- 仕事始め ..... 1月6日
- 地区座談会 ..... 2月上旬
- 造林コンクール及び林業講演会 ..... 2月中旬
- 役員選挙(任期満了) ..... 3月